

令和7年度京都ジョブパーク事業学生等支援業務に係る事業提案Q&A

番号	質問	回答
1	<p>P5 5(1)府内大学への訪問・営業活動</p> <p>「京都ジョブパークを利用して府内就職をしている学生が多い大学については複数回訪問するなど…」とありますが、具体的にどの大学を訪問するかは京都府様から指定があるという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>京都ジョブパークを利用して府内就職をしている学生については、本府が有する内部情報となりますので、事業者の特定後に情報を共有します。</p> <p>ただし、当該情報は学生の府内定着に繋がる効率的な訪問を検討する上での材料であり、そのほかに有効と考えられる観点及びそれに基づく材料があれば、提案に含めることを妨げるものではありません。</p>
2	<p>P10 7(2)「ジョブこねっと」(インターンシップ関連部分)の運営・利用促進</p> <p>「必要に応じ、サイトの改修や利用者増加を図るための広報を提案し、当該費用を負担すること」とありますが当該費用の想定金額を教えてください。</p> <p>また、「サイトの保守管理費の負担」とありますが、負担する金額を教えてください。</p>	<p>サイトの改修や利用者増加を図るための広報に係る費用については、必要に応じて提案を求めるものであり、その内容に応じて当該費用の負担を求めるものです。</p> <p>サイトの保守管理費としては、454,000円(税込)を想定しています。</p>
3	<p>貴府が考える本事業における課題やよりよい事業の実施に向けて改善したいと考えている点があれば教えてください。</p>	<p>府内では大学生が多いにもかかわらず、府内大学生が府内で就職する割合は17.8%(令和5(2023)年度卒)と低く、京都で学んだ学生の府内就職を促進するため、京都企業との交流や職業体験の機会を創出するなど、府内企業への就職に向けた効果的な動機付けを行う取組が必要です。</p> <p>京都ジョブパークでは、就職支援協定締結大学と連携し、学生生活の早い時期から「働くこと」や「京都企業」への理解を促進するため、子育てにやさしい職場づくり実践企業での職場体験やリクルートフェアの開催等により、学生の京都企業への就職と職場定着を支援しているところです。</p> <p>また、企業では採用活動が早期化するなど、人材確保支援への対応は喫緊の課題であることから、令和6年5月に京都企業人材確保センターを開設し、人材確保・定着に向けて就労環境改善による企業の魅力向上から求職者とのマッチングまで、一気通貫で支援を行っているところであり、今後は学生、大学、企業に対する支援を、京都ジョブパークと京都企業人材確保センターが一体となって取り組むことが求められると考えています。</p>
4	<p>現事業(その1・その2)における人員体制を教えてください。(週何日勤務かも教えてください)</p>	<p>人員配置体制については、仕様書において人員ごとに配置する人数の下限数として定めており、一部の人員については、事業者の提案により下限数を超える配置を認めています。</p> <p>なお、現事業における配置の状況及び勤務日数については、当該受託事業者の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるものであることから、回答は控えさせていただきます。</p>
5	<p>直近3年間の事業実績(その1・その2の各イベント実施回数・各参加者数等)を教えてください。</p>	<p>直近3年間の事業実績については、当該業務に係る受託事業者の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるものであることから、回答は控えさせていただきます。</p>
6	<p>仕様書の「運営管理・実施報告等」に定められている各目標数と管理項目について、直近3年間の実績数を教えてください</p>	<p>直近3年間の目標数及び管理項目に対する実績数については、当該業務に係る受託事業者の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるものであることから、回答は控えさせていただきます。</p>